



2009年「タイヤ点検結果」の報告

(社)日本自動車タイヤ協会(会長 三野 哲 治)は、都道府県警察、運輸支局、東日本・中日本・西日本の各高速道路株式会社(旧 JH)、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2009年(1月~12月)に全国で32回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表いたします。

【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路(含、自動車専用道路)1,432台、一般道路832台の合計2,264台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要及び2008年対比は、別表1~3に示しました。

1. タイヤ点検の概要(表-1)

タイヤ点検の結果、表-1の通り、点検車両2,264台のうち、タイヤに整備不良があった車両は689台、不良率30.4%となっており、2008年点検結果に比べ1.0ポイントの増加となっています。尚、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は30.9%で2.9ポイントの増加、一般道路では29.7%で1.4ポイントの減少という結果となっています。

表-1 タイヤ点検の概要

項目	年			参考(2008年)		
	2009年	2009年	合計	2008年	2008年	合計
	高速道路	一般道路	合計	高速道路	一般道路	合計
点検回数(回)	18	14	32	21	13	34
点検車両A(台)	1,432	832	2,264	1,205	973	2,178
タイヤ整備不良車両B(台)	442	247	689	338	303	641
不良率B/A(%)	30.9	29.7	30.4	28.0	31.1	29.4
対前年増減	2.9	-1.4	1.0	-	-	-

2. 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳(表-2)

タイヤの整備状況を項目別にみると表-2の通り、不良率1位は「空気圧不適正」で19.4%、次いで「偏摩耗」6.8%「タイヤ溝不足」4.5%の順となっています。

不良率を2008年の結果と比較すると、「偏摩耗」は3.2ポイント、「タイヤ溝不足」は1.7ポイントそれぞれ増加となっているものの、「空気圧不適正」は2.4ポイント、「釘・異物踏み」は0.2ポイント、「外傷」は0.1ポイントそれぞれ減少しています。

また、道路別でみた不良率を2008年の結果と比較すると、高速道路では「タイヤ溝不足」1.3ポイント、「偏摩耗」3.6ポイント増加しているものの、それ以外の項目では減少傾向を示しています。一方の一般道路では「空気圧不適正」は3.6ポイント減少していますが、「偏摩耗」は2.7ポイント、「タイヤ溝不足」は1.7ポイント増加しています。

表 - 2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

項目	年		2009年				対2008年増減			
	区分	高速道路		一般道路		合 計		高速道路	一般道路	合 計
		件数	%	件数	%	件数	%			
タイヤ溝不足		72	5.0	29	3.5	101	4.5	1.3	1.7	1.7
偏摩耗		101	7.1	54	6.5	155	6.8	3.6	2.7	3.2
外 傷		6	0.4	3	0.4	9	0.4	-0.4	0.4	-0.1
釘・異物踏み		10	0.7	0	0.0	10	0.4	-0.3	-0.1	-0.2
空気圧不適正		254	17.7	185	22.2	439	19.4	-0.9	-3.6	-2.4
そ の 他		74	5.2	35	4.2	109	4.8	0.7	-0.1	0.4
計		517	-	306	-	823	-	-	-	-

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(内訳 空気圧不足:274件 空気圧過多:165件)

注) 3. 空気圧測定は目視検査を含む。

3. 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳(表 - 3)

タイヤの整備状況を車両グループ別に見ると、表 - 3 の通り不良率ワースト1位は「乗用車」、「貨物車」で共に30.6%となっており、2008年結果と比較するとそれぞれ増加しています。

「特種車」を含めた全体でも、2008年の結果に比べ1.0ポイント増加となっています。

グループ別の整備状況としては、「乗用車グループ」で、普通乗合(2)、普通乗用(3)、軽(5.7)がそれぞれ増加、また「貨物車グループ」でも、普通貨物(1)が増加となっています。

表 - 3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車 種		点検車両(台)	不良車両(台)	不良率(%)	対2008年増減
乗 用 車	普通乗合(2)	40	11	27.5	22.8
	普通乗用(3)	491	150	30.5	2.1
	小型乗用(5.7)	900	266	29.6	-0.5
	軽(5.7)	323	109	33.7	2.7
	小 計	1,754	536	30.6	1.5
貨 物 車	普通貨物(1)	151	56	37.1	4.3
	小型貨物(4)	242	68	28.1	-1.6
	軽(4.6)	87	23	26.4	-0.9
	小 計	480	147	30.6	0.2
特種(8)		30	6	20.0	-15.7
合 計		2,264	689	30.4	1.0

注) ()内数字は、車種ナンバーを示す。

4. 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳(表-4)

車両グループ別・項目別ワースト1位は表-4の通り、乗用車は「空気圧不適正」で不良率は22.6%となっており、貨物車は「偏摩耗」で不良率は12.7%となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目	タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷		釘・異物踏み		空気圧不適正		そ の 他		合計
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
乗用車	普通乗合(2)	4	10.0	8	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12
	普通乗用(3)	8	1.6	13	2.6	2	0.4	3	0.6	116	23.6	23	4.7	165
	小型乗用(5.7)	28	3.1	55	6.1	1	0.1	3	0.3	197	21.9	44	4.9	328
	軽(5.7)	11	3.4	16	5.0	2	0.6	0	0.0	83	25.7	23	7.1	135
	小 計	51	2.9	92	5.2	5	0.3	6	0.3	396	22.6	90	5.1	640
貨物車	普通貨物(1)	21	13.9	32	21.2	3	2.0	4	2.6	1	0.7	6	4.0	67
	小型貨物(4)	18	7.4	21	8.7	1	0.4	0	0.0	33	13.6	7	2.9	80
	軽(4.6)	9	10.3	8	9.2	0	0.0	0	0.0	9	10.3	4	4.6	30
	小 計	48	10.0	61	12.7	4	0.8	4	0.8	43	9.0	17	3.5	177
	特種(8)	2	6.7	2	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	6.7	6
	合 計	101	4.5	155	6.8	9	0.4	10	0.4	439	19.4	109	4.8	823

注)1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注)2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。
(内訳 空気圧不足:274件 空気圧過多:165件)

注)3. 空気圧測定は目視検査を含む。

【まとめ】

今回の結果をみると、「空気圧不適正」が2008年結果に比べ2.4ポイント減少しているものの整備不良率では、ワースト1位(19.4%)となっています。その他「外傷」、「釘・異物踏み」では、それぞれ減少するも、「タイヤ溝不足」が4.5%で1.7ポイント、「偏摩耗」が6.8%で3.2ポイントとそれぞれ増加を示しました。

これらの結果を受け、当会では今後も引き続き年間を通じたタイヤ点検の実施及び点検時にタイヤ使用管理リーフレット「タイヤを上手にご使用いただくために」の配布を行い、タイヤ適正使用への訴求を行うと共に、「4月8日タイヤの日」の活動をはじめとした様々な安全啓発活動を展開していくこととしています。

本件に関するお問い合わせ先

技術環境部 : 柴田

電話 03-3435-9092

1. 2009年（1 - 12月）路上タイヤ点検結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

点検項目		年別		2008年						2009年													
		道路別		高速道路		一般道路		計		高速道路		一般道路		計									
										対前年増減		対前年増減		対前年増減									
点検回数（回）				21		13		34		18		-3		14		1		32		-2			
点検車両A（台）				1,205		973		2,178		1,432		227		832		-141		2,264		86			
タイヤ整備不良車両B（台）				338		303		641		442		104		247		-56		689		48			
不良率B/A（%）				28.0		31.1		29.4		30.9		2.9		29.7		-1.4		30.4		1.0			
件数・不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率		不良率		件数		不良率		件数		不良率	
												% 増減		% 増減		% 増減		% 増減					
タイヤ整備不良の内訳	タイヤ溝不足	44	3.7	18	1.8	62	2.8	72	5.0	1.3	29	3.5	1.7	101	4.5	1.7							
	偏摩耗	42	3.5	37	3.8	79	3.6	101	7.1	3.6	54	6.5	2.7	155	6.8	3.2							
	外傷（コードに達するもの）	10	0.8	0	0.0	10	0.5	6	0.4	-0.4	3	0.4	0.4	9	0.4	-0.1							
	釘・異物踏み	12	1.0	1	0.1	13	0.6	10	0.7	-0.3	0	0.0	-0.1	10	0.4	-0.2							
	空気圧不適正	224	18.6	251	25.8	475	21.8	254	17.7	-0.9	185	22.2	-3.6	439	19.4	-2.4							
	その他	54	4.5	42	4.3	96	4.4	74	5.2	0.7	35	4.2	-0.1	109	4.8	0.4							
	計	386	-	349	-	735	-	517	-	-	306	-	-	823	-	-							

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率とは、「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」を「点検車両台数」で除した百分率をいう。

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。（内訳 空気圧不足：274件 空気圧過多：165件）

2. 2009年(1-12月)路上タイヤ点検・車種別項目別結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目		点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳										計		
	車種No.					タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不適正			その他	
	件数	不良率				件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		件数	不良率
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	40	11	27.5	4	10.0	8	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12
		普通乗用(3)	326	100	30.7	8	2.5	9	2.8	1	0.3	3	0.9	71	21.8	19	5.8	111
		小型乗用(5.7)	600	175	29.2	20	3.3	32	5.3	0	0.0	3	0.5	123	20.5	28	4.7	206
		軽(5.7)	147	43	29.3	7	4.8	7	4.8	2	1.4	0	0.0	28	19.0	10	6.8	54
		計	1,113	329	29.6	39	3.5	56	5.0	3	0.3	6	0.5	222	19.9	57	5.1	383
	貨物車	普通貨物(1)	109	49	45.0	18	16.5	29	26.6	2	1.8	4	3.7	1	0.9	6	5.5	60
		小型貨物(4)	154	50	32.5	11	7.1	12	7.8	1	0.6	0	0.0	26	16.9	6	3.9	56
		軽(4.6)	44	12	27.3	3	6.8	4	9.1	0	0.0	0	0.0	5	11.4	4	9.1	16
		計	307	111	36.2	32	10.4	45	14.7	3	1.0	4	1.3	32	10.4	16	5.2	132
	18回	特種(8)	12	2	16.7	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	2
合計		1,432	442	30.9	72	5.0	101	7.1	6	0.4	10	0.7	254	17.7	74	5.2	517	
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	165	50	30.3	0	0.0	4	2.4	1	0.6	0	0.0	45	27.3	4	2.4	54
		小型乗用(5.7)	300	91	30.3	8	2.7	23	7.7	1	0.3	0	0.0	74	24.7	16	5.3	122
		軽(5.7)	176	66	37.5	4	2.3	9	5.1	0	0.0	0	0.0	55	31.3	13	7.4	81
		計	641	207	32.3	12	1.9	36	5.6	2	0.3	0	0.0	174	27.1	33	5.1	257
	貨物車	普通貨物(1)	42	7	16.7	3	7.1	3	7.1	1	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7
		小型貨物(4)	88	18	20.5	7	8.0	9	10.2	0	0.0	0	0.0	7	8.0	1	1.1	24
		軽(4.6)	43	11	25.6	6	14.0	4	9.3	0	0.0	0	0.0	4	9.3	0	0.0	14
		計	173	36	20.8	16	9.2	16	9.2	1	0.6	0	0.0	11	6.4	1	0.6	45
	14回	特種(8)	18	4	22.2	1	5.6	2	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.6	4
合計		832	247	29.7	29	3.5	54	6.5	3	0.4	0	0.0	185	22.2	35	4.2	306	
合計	乗用車	普通乗合(2)	40	11	27.5	4	10.0	8	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12
		普通乗用(3)	491	150	30.5	8	1.6	13	2.6	2	0.4	3	0.6	116	23.6	23	4.7	165
		小型乗用(5.7)	900	266	29.6	28	3.1	55	6.1	1	0.1	3	0.3	197	21.9	44	4.9	328
		軽(5.7)	323	109	33.7	11	3.4	16	5.0	2	0.6	0	0.0	83	25.7	23	7.1	135
		計	1,754	536	30.6	51	2.9	92	5.2	5	0.3	6	0.3	396	22.6	90	5.1	640
	貨物車	普通貨物(1)	151	56	37.1	21	13.9	32	21.2	3	2.0	4	2.6	1	0.7	6	4.0	67
		小型貨物(4)	242	68	28.1	18	7.4	21	8.7	1	0.4	0	0.0	33	13.6	7	2.9	80
		軽(4.6)	87	23	26.4	9	10.3	8	9.2	0	0.0	0	0.0	9	10.3	4	4.6	30
		計	480	147	30.6	48	10.0	61	12.7	4	0.8	4	0.8	43	9.0	17	3.5	177
	32回	特種(8)	30	6	20.0	2	6.7	2	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	6.7	6
合計		2,264	689	30.4	101	4.5	155	6.8	9	0.4	10	0.4	439	19.4	109	4.8	823	

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
 2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100
 3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。
 4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(内訳 空気圧不足:274件 空気圧過多:165件)

3. 2008年、2009年(1-12月)路上タイヤ点検不良項目別結果比較

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目		タイヤ整備不良の項目内訳																					
	車種NO.	点検車両中の タイヤ整備不良	タイヤ溝不足			偏摩耗			外傷 (コードに達するもの)			釘・異物踏み			空気圧不適正			その他						
			08年	09年	増減	08年	09年	増減	08年	09年	増減	08年	09年	増減	08年	09年	増減	08年	09年	増減				
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	4.7	27.5	22.8	0.0	10.0	10.0	4.7	20.0	15.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	26.0	30.7	4.7	1.2	2.5	1.3	2.0	2.8	0.8	0.8	0.3	-0.5	1.2	0.9	-0.3	18.8	21.8	3.0	4.4	5.8	1.4	
		小型乗用(5.7)	26.2	29.2	3.0	2.5	3.3	0.8	1.9	5.3	3.4	0.9	0.0	-0.9	0.5	0.5	0.0	18.8	20.5	1.7	4.2	4.7	0.5	
		軽(5.7)	31.5	29.3	-2.2	3.3	4.8	1.5	1.1	4.8	3.7	1.1	1.4	0.3	2.2	0.0	-2.2	23.9	19.0	-4.9	2.2	6.8	4.6	
		計	25.7	29.6	3.9	2.1	3.5	1.4	2.0	5.0	3.0	0.8	0.3	-0.5	0.8	0.5	-0.3	18.4	19.9	1.5	3.9	5.1	1.2	
	貨物車	普通貨物(1)	35.9	45.0	9.1	20.7	16.5	-4.2	16.3	26.6	10.3	1.1	1.8	0.7	2.2	3.7	1.5	0.0	0.9	0.9	5.4	5.5	0.1	
		小型貨物(4)	37.4	32.5	-4.9	1.6	7.1	5.5	4.1	7.8	3.7	0.8	0.6	-0.2	0.0	0.0	0.0	33.3	16.9	-16.4	5.7	3.9	-1.8	
		軽(4.6)	30.8	27.3	-3.5	7.7	6.8	-0.9	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	11.4	-11.7	15.4	9.1	-6.3	
		計	36.1	36.2	0.1	9.5	10.4	0.9	8.3	14.7	6.4	0.8	1.0	0.2	0.8	1.3	0.5	19.5	10.4	-9.1	6.6	5.2	-1.4	
	特種(8)	60.0	16.7	-43.3	10.0	8.3	-1.7	30.0	0.0	-30.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	-20.0	10.0	0.0	-10.0	10.0	8.3	-1.7		
合計	28.0	30.9	2.9	3.7	5.0	1.3	3.5	7.1	3.6	0.8	0.4	-0.4	1.0	0.7	-0.3	18.6	17.7	-0.9	4.5	5.2	0.7			
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		普通乗用(3)	31.0	30.3	-0.7	2.5	0.0	-2.5	2.1	2.4	0.3	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	25.1	27.3	2.2	2.1	2.4	0.3	
		小型乗用(5.7)	35.4	30.3	-5.1	1.0	2.7	1.7	3.9	7.7	3.8	0.0	0.3	0.3	0.2	0.0	-0.2	32.5	24.7	-7.8	5.6	5.3	-0.3	
		軽(5.7)	30.7	37.5	6.8	0.0	2.3	2.3	1.8	5.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.6	31.3	3.7	6.1	7.4	1.3	
		計	33.2	32.3	-0.9	1.2	1.9	0.7	2.9	5.6	2.7	0.0	0.3	0.3	0.1	0.0	-0.1	29.4	27.1	-2.3	4.7	5.1	0.4	
	貨物車	普通貨物(1)	24.2	16.7	-7.5	12.1	7.1	-5.0	12.1	7.1	-5.0	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	-6.1	0.0	0.0	0.0	
		小型貨物(4)	17.7	20.5	2.8	2.5	8.0	5.5	7.6	10.2	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	8.0	1.7	1.3	1.1	-0.2	
		軽(4.6)	24.1	25.6	1.5	3.4	14.0	10.6	3.4	9.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.2	9.3	-7.9	6.9	0.0	-6.9	
		計	20.6	20.8	0.2	5.0	9.2	4.2	7.8	9.2	1.4	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	8.5	6.4	-2.1	2.1	0.6	-1.5	
	特種(8)	22.2	22.2	0.0	5.6	5.6	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	
合計	31.1	29.7	-1.4	1.8	3.5	1.7	3.8	6.5	2.7	0.0	0.4	0.4	0.1	0.0	-0.1	25.8	22.2	-3.6	4.3	4.2	-0.1			
合計	乗用車	普通乗合(2)	4.7	27.5	22.8	0.0	10.0	10.0	4.7	20.0	15.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		普通乗用(3)	28.4	30.5	2.1	1.8	1.6	-0.2	2.0	2.6	0.6	0.4	0.4	0.0	0.6	0.6	0.0	21.9	23.6	1.7	3.3	4.7	1.4	
		小型乗用(5.7)	30.1	29.6	-0.5	1.8	3.1	1.3	2.8	6.1	3.3	0.5	0.1	-0.4	0.4	0.3	-0.1	24.6	21.9	-2.7	4.8	4.9	0.1	
		軽(5.7)	31.0	33.7	2.7	1.2	3.4	2.2	1.6	5.0	3.4	0.4	0.6	0.2	0.8	0.0	-0.8	26.3	25.7	-0.6	4.7	7.1	2.4	
		計	29.1	30.6	1.5	1.7	2.9	1.2	2.4	5.2	2.8	0.5	0.3	-0.2	0.5	0.3	-0.2	23.5	22.6	-0.9	4.2	5.1	0.9	
	貨物車	普通貨物(1)	32.8	37.1	4.3	18.4	13.9	-4.5	15.2	21.2	6.0	0.8	2.0	1.2	1.6	2.6	1.0	1.6	0.7	-0.9	4.0	4.0	0.0	
		小型貨物(4)	29.7	28.1	-1.6	2.0	7.4	5.4	5.4	8.7	3.3	0.5	0.4	-0.1	0.0	0.0	0.0	22.8	13.6	-9.2	4.0	2.9	-1.1	
		軽(4.6)	27.3	26.4	-0.9	5.5	10.3	4.8	1.8	9.2	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.3	-9.7	10.9	4.6	-6.3	
		計	30.4	30.6	0.2	7.9	10.0	2.1	8.1	12.7	4.6	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	0.3	15.4	9.0	-6.4	5.0	3.5	-1.5	
	特種(8)	35.7	20.0	-15.7	7.1	6.7	-0.4	17.9	6.7	-11.2	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	-7.1	3.6	0.0	-3.6	7.1	6.7	-0.4		
合計	29.4	30.4	1.0	2.8	4.5	1.7	3.6	6.8	3.2	0.5	0.4	-0.1	0.6	0.4	-0.2	21.8	19.4	-2.4	4.4	4.8	0.4			

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率とは、「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」を「点検車両台数」で除した百分率をいう。

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(内訳 空気圧不足:274件 空気圧過多:165件)